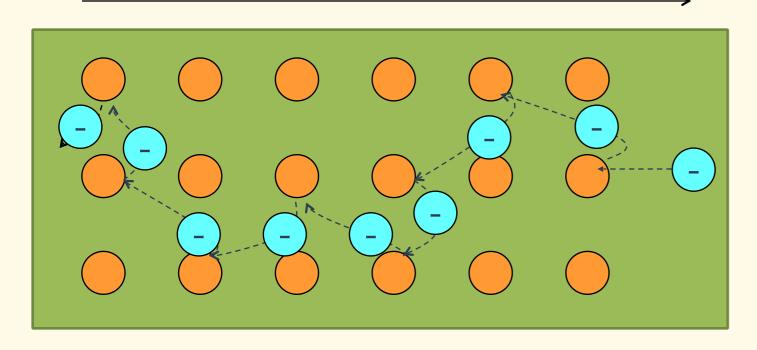
# 電子工学9

#### これからは

- 電流が流れるか流れないかが重要
- 電流が流れるか流れないかは、電子のエネルギー状態に依存する
- それを制御することでトランジスタ、LED、太陽電 池などを実現している

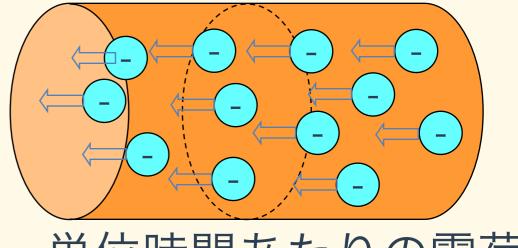
#### 電流とは

#### 電流



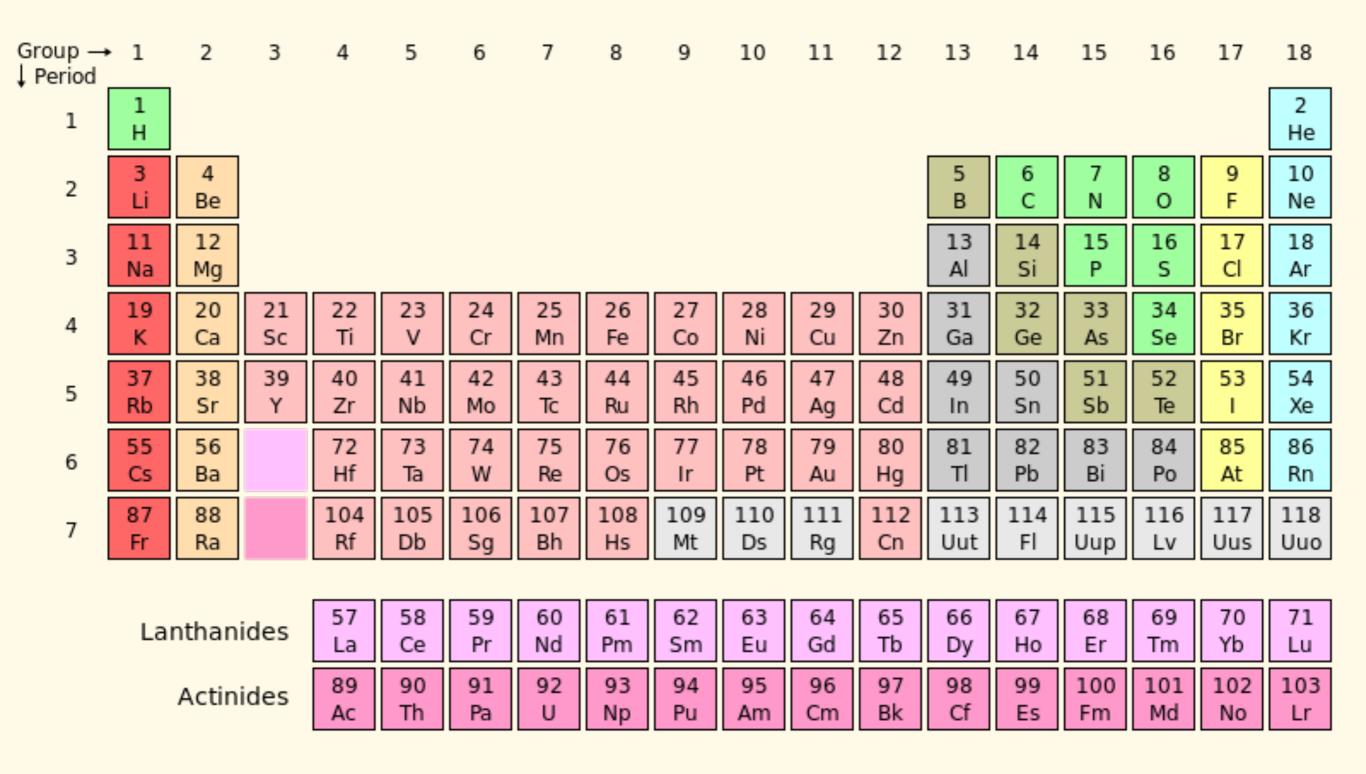
結晶格子

電流と電子の流れは逆

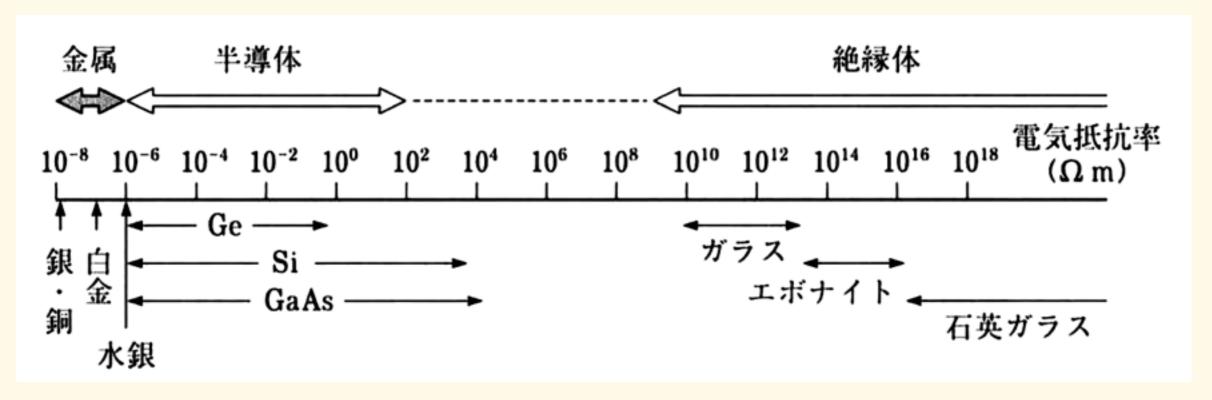


単位時間あたりの電荷

$$I = \frac{dQ}{dt}$$



#### 物質の抵抗



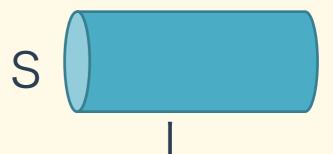
(豊田、半導体の科学とその応用)

導体(金属):電気を通す

半導体:導体と絶縁体の中間

絶縁体:電気をほとんど通さない

$$R = \rho \frac{l}{S}$$
 抵抗率 $\rho$ 



#### 金属(導体)

- 鉄、銅、アルミニウム、チタン、ナトリウム
- ▶ 特徴
  - ◆ 金属結合
  - 柔らかい
  - ・電気をよく通す(電気抵抗率10-6以下)
  - ▶ 金属光沢



(田中貴金属工業)



(造幣局)



(wikipedia)

#### 自由電子

原子核から弱く束縛された最外殻電子



自由に動き回る(自由電子)

電気伝導 光沢の原因

#### 半導体

- シリコン、ゲルマニウム、ガリウムヒ素
- 電気抵抗は導体と絶縁体の中間
  - ▶ 電気抵抗率は10-6から102
- ・電気抵抗が温度で変わる
  - ▶ 温度が高いほうが抵抗が低い
- 共有結合している
  - ▶ 最外殻電子を共有することで安定した個数に する

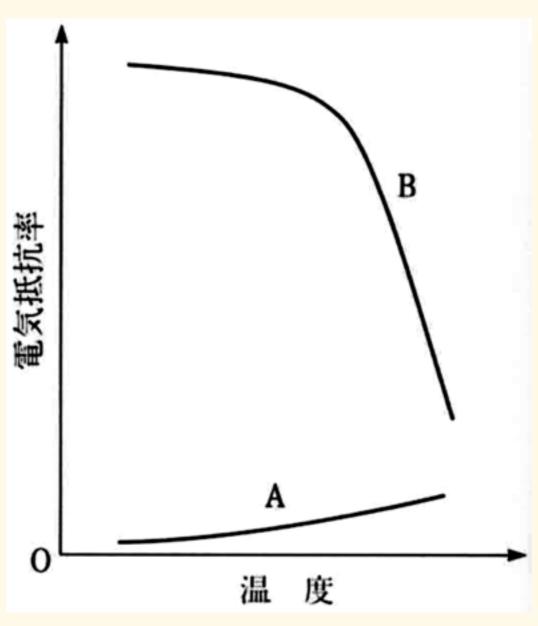
#### シリコンの原石



シリコンは最も身近な元素の一つ。 石の主要成分の一つ。

東京大学総合博物館

### 抵抗が温度で変わる

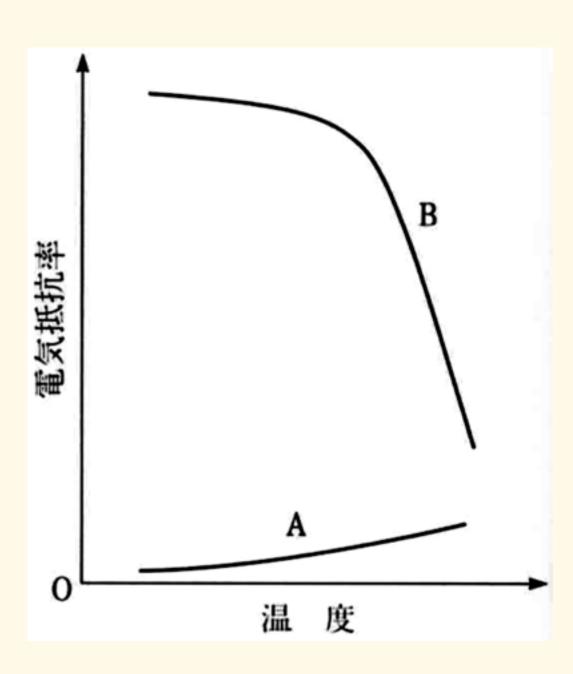


(豊田、半導体の科学とその応用)

半導体はどっち?

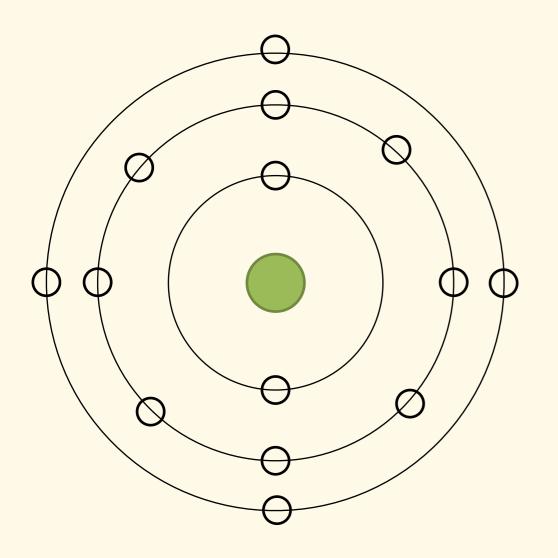
#### 抵抗が温度で変わる

- 金属は温度が上がると抵抗 が上がる
  - 熱振動による
- ・ 半導体は温度が上がると抵 抗は下がる
  - なぜでしょう?



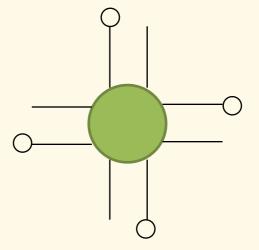
# 共有結合している

・電子を共有することで安定な電子の個数にする

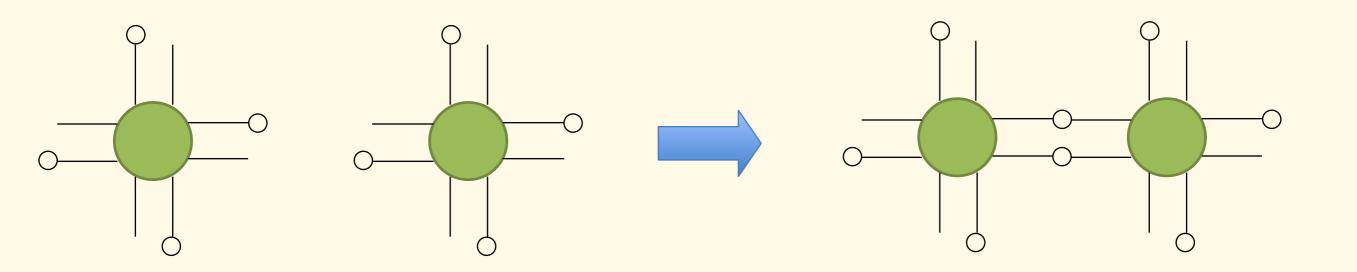


シリコンK殻 2個<br/>L殻 8個M殻4個

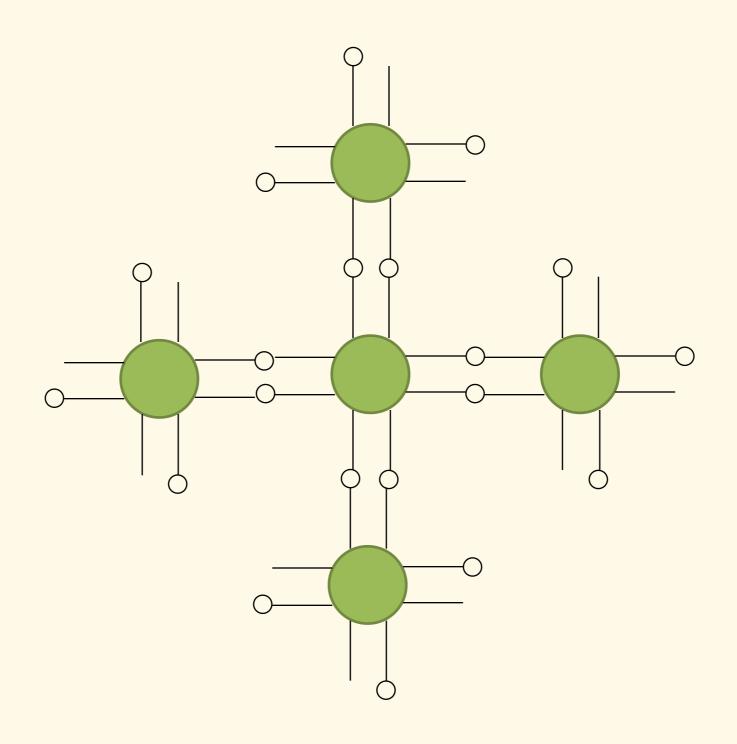




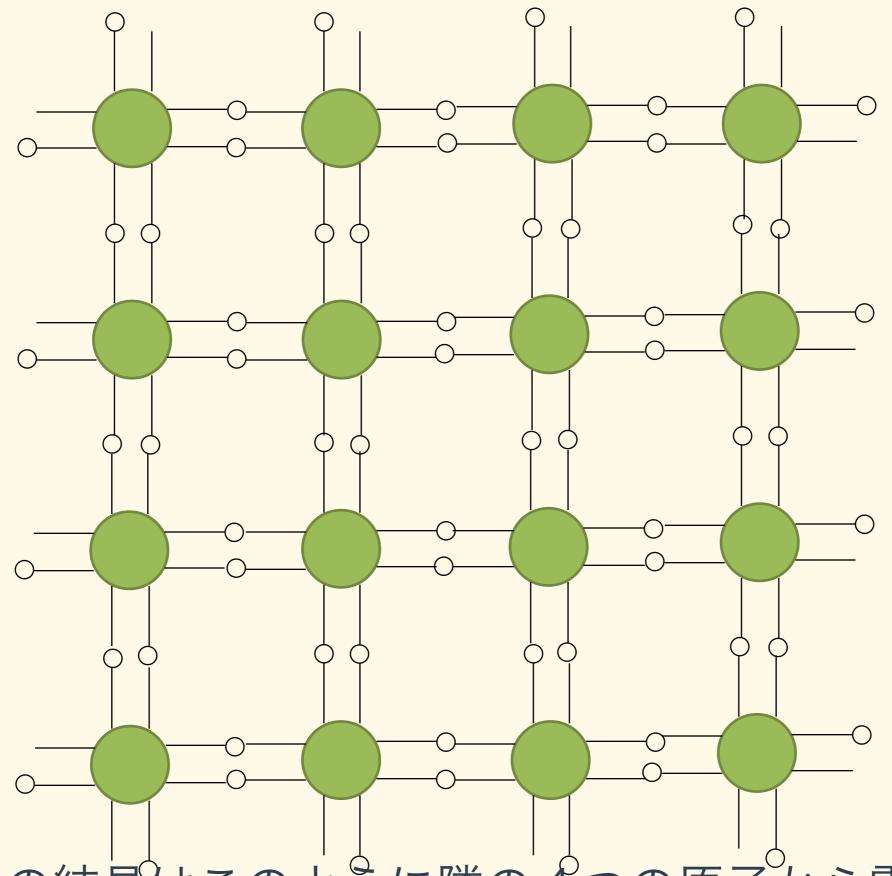
最外殻電子だけで表してみる 8個電子がはいる 席があるが、電子 は4つしか無い状態



原子1つだけでは最外殻電子が足りない。 隣から借りる



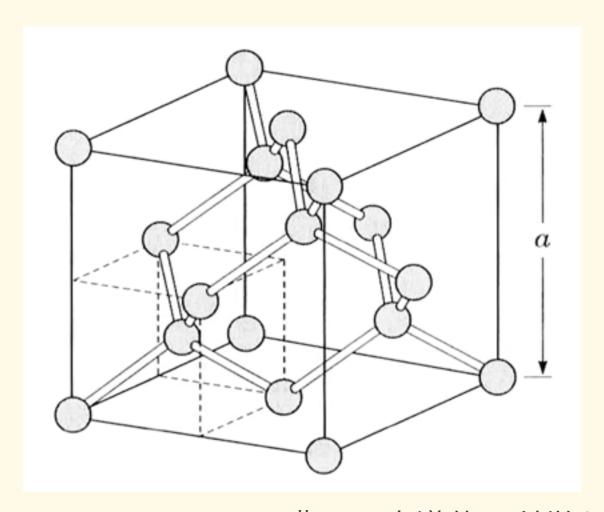
4個の隣の原子から電子を借りれば安定する。



シリコンの結晶はこのように隣の4つの原子から電子を1つ借りる構造になっている。

#### ダイヤモンド構造

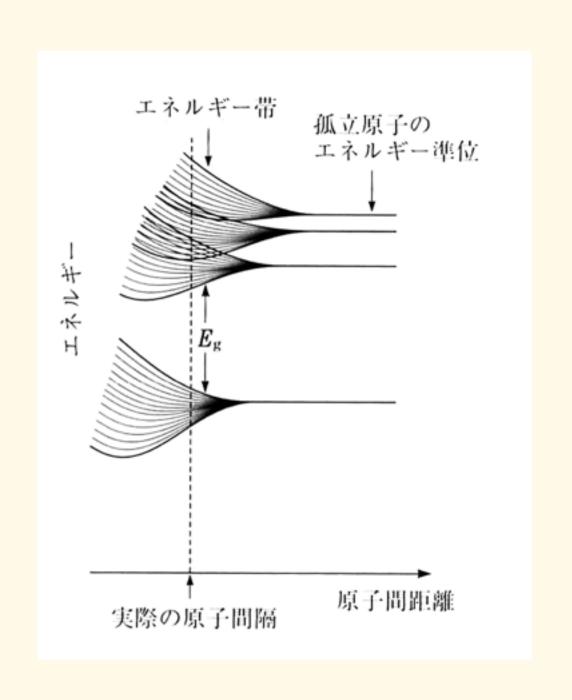
▶ しかし結晶は2次元ではなく3次元の構造をしている。



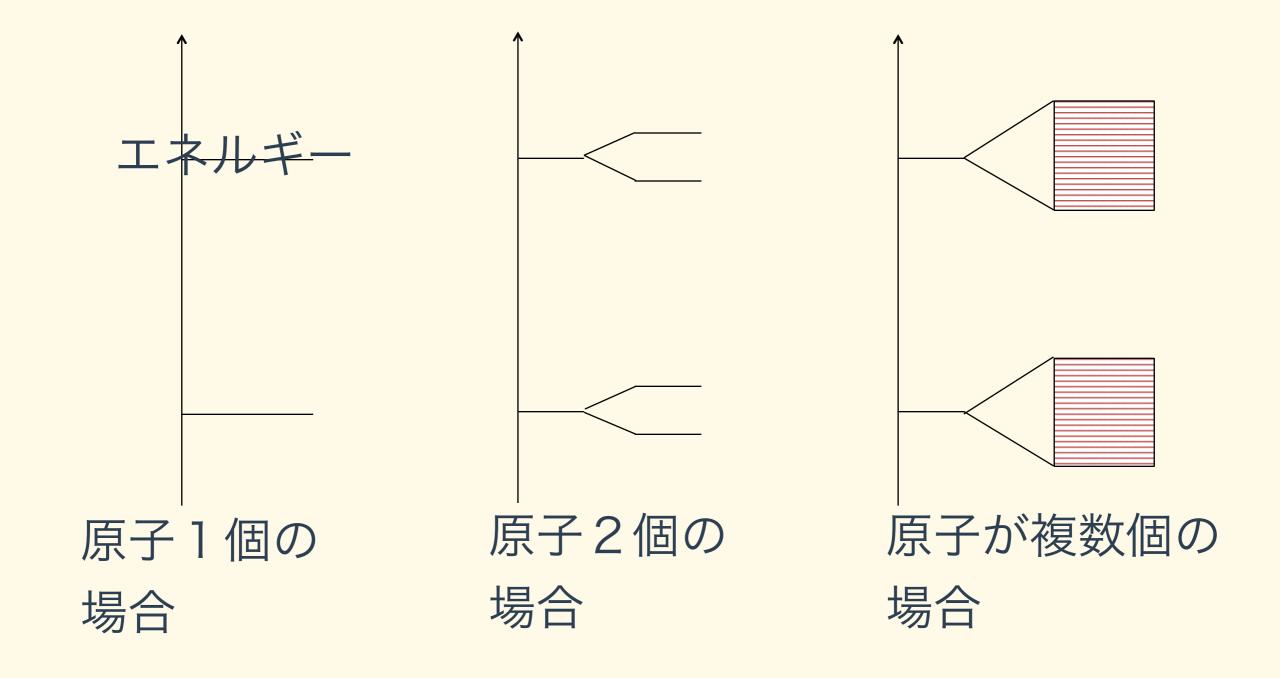
(豊田、半導体の科学とその応用)

ダイヤモンドと同じ構造をしている。

- 電子のエネルギーは量子化 されている。
- 原子同士が近づくと電子の 持てるエネルギーの状態が 変わる
- エネルギー状態によって電 子の振る舞いが変わる



(豊田、半導体の科学とその応用)



- 原子の数が増えると電子の取れるエネルギーの値(エネルギー準位)が分裂する。
- 我々が手にとって使っている物質の中にはものすご い数の原子がある。
- ものすごい数で分裂するので、分裂したエネルギー 準位同士は非常に近く連続しているとみなせる。
- これをエネルギーバンドという。

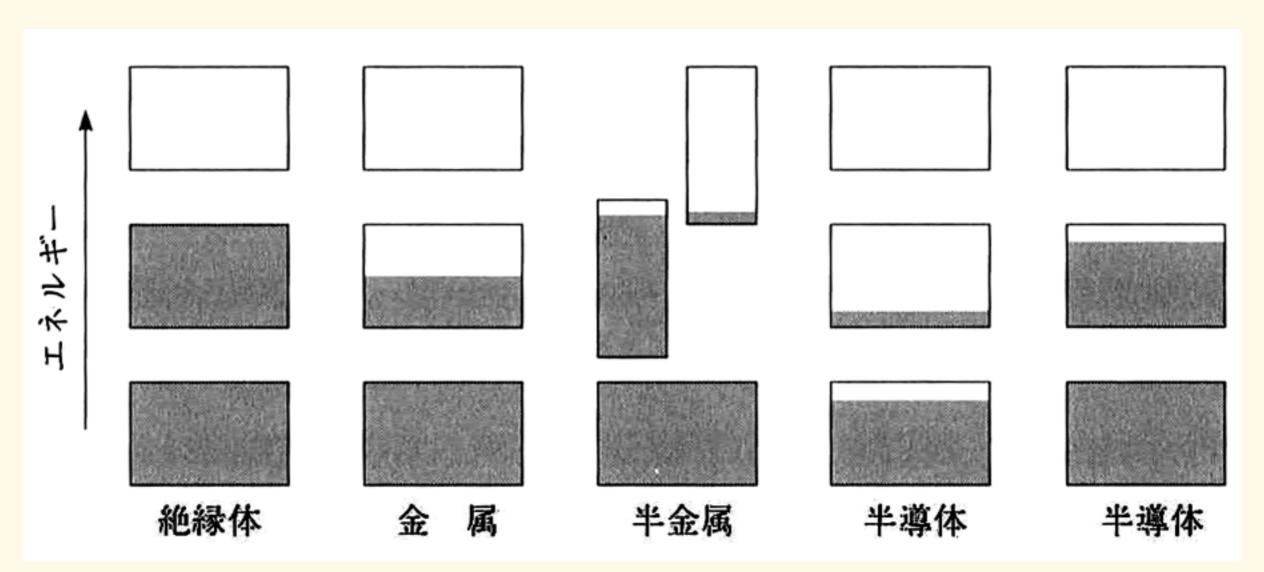
- ▶ 帯
  - 電子が入れるエネルギーバンド(許容帯)
- ・ 色がついているところ
  - ・電子が入っている
- 価電子帯
  - 結合に寄与する電子が所属
- 伝導帯
  - 比較的自由に動く電子が所属 (電気の流れに寄与)

エネルギー

伝導帯

禁制帯、禁止帯 (バンドギャップ)

価電子帯



(豊田、半導体の科学とその応用)

絶縁体:自由電子が極端に少ない

半導体:熱エネルギーなどで一部の電子が伝導体にある。

導体: 伝導帯に電子がある。

### フェルミ分布

電子があるエネルギー準位にある確率

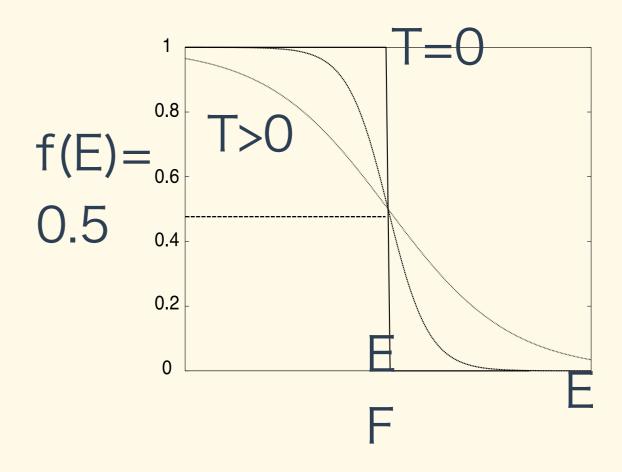
$$f(E) = \frac{1}{\exp(\frac{E - E_F}{k_B T}) + 1}$$

E:エネルギー

EF:フェルミ準位

kB:ボルツマン定数

T:絶対温度



## フェルミ分布

